



令和3年2月24日

令和2年度長野県日本語教育大会

「長野県日本語交流員養成事業」について



[文化庁：日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業] 活用事業



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

長野県 県民文化部
文化政策課 多文化共生・パスポート室

「長野県多文化共生推進指針2020」の策定について 【基本目標】 共に学び、共に創る しんしゅう多文化共生新時代



意識づくり・地域づくり

相互理解に必要

まず、大事

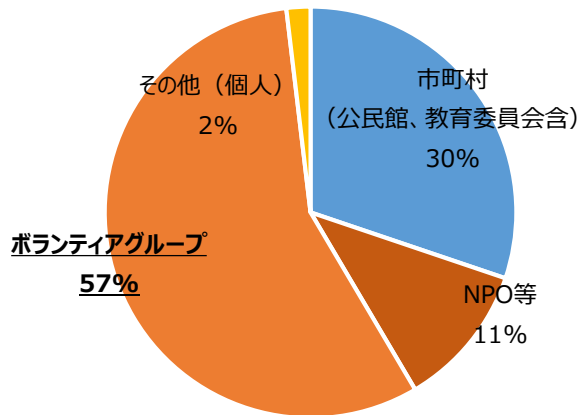
日本語交流員養成事業の位置づけ

長野県の日本語教育体制づくり

どこに住んでも、日本語を学べる地域を目指して取り組んでいます！

● 県内の日本語教室の現状と課題 ●

✓日本語教室の主催区分



✓教室の運営で困っていること (抜粋)

- ・日本語指導スタッフが不足している
- ・学習者が長続きしない
- ・学習者の日本語レベルが違いすぎる
- ・ボランティアスタッフの知識が不足している

✓市町村や県、国等の行政に望むこと (抜粋)

- ・日本語教室への経済的支援
- ・外国人を雇用している企業の協力
- ・日本語教室の運営や講座内容を充実させるための支援
- ・日本語学習支援者の養成

出典：平成30年度長野県国際課
「日本語学習支援等に関するアンケート調査」

①地域における日本語教育の支援

地域日本語教室創出事業

[文化庁：地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業]

②地域における日本語教育の担い手の養成

日本語交流員養成事業

[文化庁：日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業]

③日本語教育等人材バンクの設立

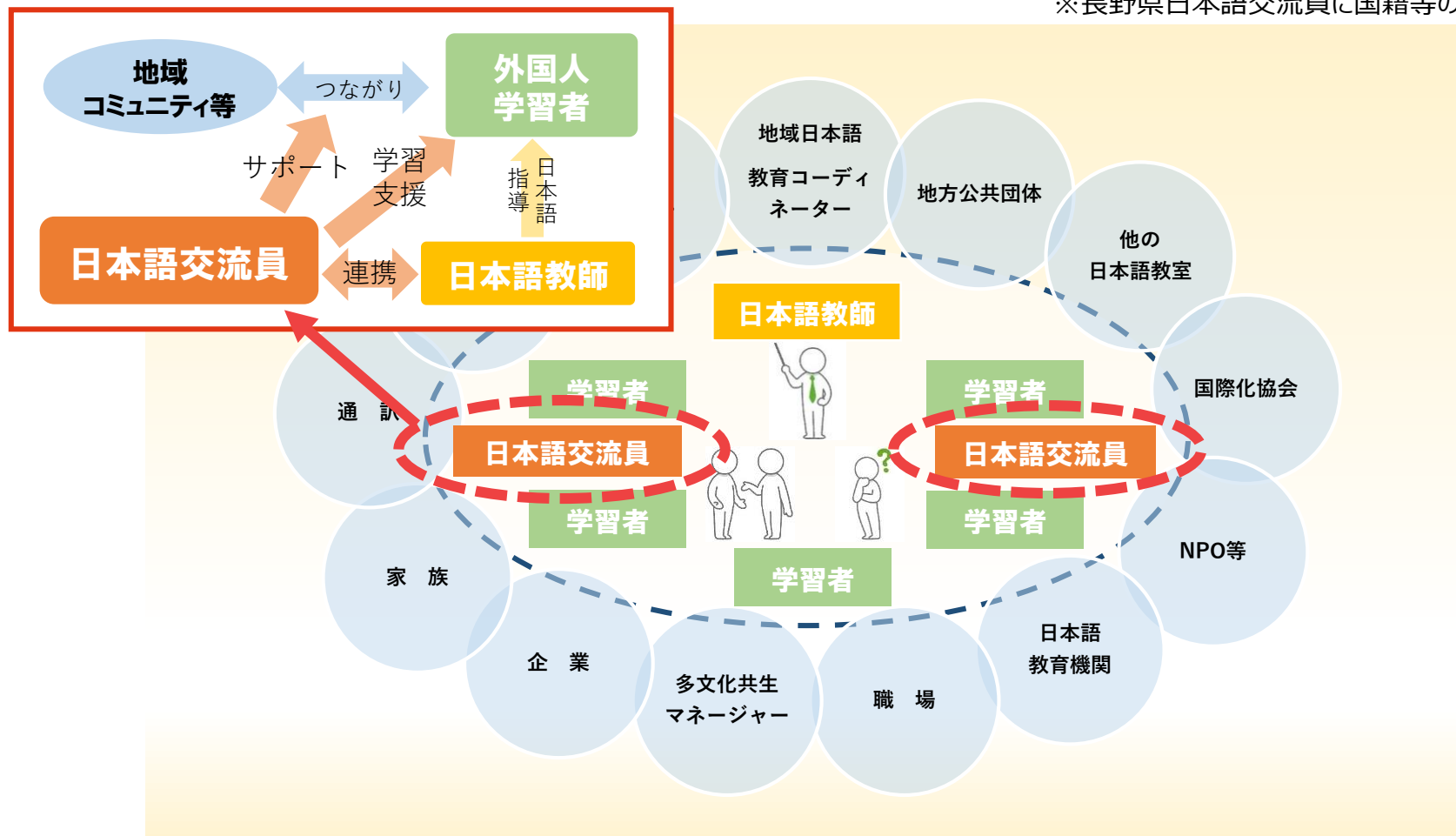
しんしゅう日本語教育等人材バンク

「長野県日本語交流員」の役割

①外国人の日本語学習を支援する（発話を促す存在として日本語学習の定着を支援）

②外国人と地域をつなぐ（身近な存在として、地域コミュニティ等と外国人をつなぐ）

※長野県日本語交流員に国籍等の要件はなし



(参考) 長野県日本語交流員養成研修カリキュラムにおける定義
日本語を学習者に直接教えるのではなく、地域と学習者を繋ぐ。地域日本語教育コーディネーター、日本語教師の日本語専門職と連携しながら学習者と共に成長する者。

長野県日本語交流員養成事業の経過

H30

運営委員会

内容 ①長野県内の現状と課題分析 ②長野県独自の日本語学習支援者の養成及び体制づくりに係る検討
③日本語学習支援者の養成・研修カリキュラム開発の内容及び実施方針の策定 等

委員 石井 恵理子（委員長）、笠原 理恵子、神吉 宇一、佐藤 佳子、春原 直美、土井 佳彦（順不同、敬称・所属略）

R1

教育課程
検討委員会

内容 ①長野県内の現状と課題分析 ②地域特性にあった日本語学習支援者養成カリキュラムについて検討 等

委員 佐藤 友則（委員長）、神吉 宇一、佐藤 佳子、春原 直美、春原 憲一郎（順不同、敬称・所属略）

※文化審議会国語分科会「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）」（平成30年2月）を踏まえて作成

教材の検討
・開発委員会

内容 ①長野県内の現状と課題分析 ②地域特性にあった日本語学習支援者養成のための教材について検討

委員 徳井 厚子（座長）、大橋 敦夫、岡宮 美樹、神吉 宇一、坂口 和寛、春原 直美（順不同、敬称・所属略）

R2

初期研修（上田・松本）

初期研修（伊那・長野）
スキルアップ研修（上田・松本）

初期研修（駒ヶ根）
スキルアップ研修（長野）

評価検証
委員会

内容 事業効果の評価検証、課題整理 等

委員 石井 恵理子（委員長）、笠原 理恵子（H30）、神吉 宇一、佐藤 佳子（H30）、春原 直美（H30）、
土井 佳彦、マキナリー 浩子（R1）（順不同、敬称・所属略）

長野県日本語交流員養成初期研修

しんしゅう多文化共生新時代地域づくり推進事業

しあわせ信州

令和2年度 全5回 9/4 締切 募集中

長野県日本語交流員養成 初期研修受講者募集

長野県内には、現在、約37,500人の外国人の方が暮らしています。その中には、地域の一員として活躍すること、そのためにも日本語を学ぶことを望んでいる方々が大勢います。日本語交流員として、地域とのつながりのサポートや日本語学習の支援をしながら、多文化共生の地域づくりを目指してみませんか。

この事業は、文化庁「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」を長野県が受託し実施するものです。

日時・会場

実施日	時間	会場
令和2年9月26日(土)	午後1:30~午後4:30	駒ヶ根市市民交流活性化センター アルバ 3階 多目的ホール(駒ヶ根市中央3-5)
令和2年10月3日(土)	午後1:30~午後3:00	オンライン会議システムによる研修
令和2年10月24日(土)	午後1:30~午後4:30	駒ヶ根市市民交流活性化センター アルバ 3階 多目的ホール(駒ヶ根市中央3-5)
令和2年11月7日(土)		
令和2年11月14日(土)		

※裏面をご覧ください。

対象者

地域住民の意識を変えていく重要な役割ができ、多文化共生に興味のある者

※日本語学習支援の活動の経験や資格有無、国籍等は問いません

定員

20名 ※定員を超えた場合は書類選考を行います

申込期間

令和2年8月24日(月)午前9:00から
令和2年9月4日(金)午後3:00まで
申請方法は裏面にをご覧ください。

その他

原則として、全5回出席してください。4回以上出席された方には、修了証をお渡しいたします。
詳細については裏面及びホームページをご覧ください。
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kokusai/r2jigyou.html>



日本語交流員 連携 日本語教師

日本語交流員とは

日本語を指導する日本語教師と協力しながら日本語学習のお手伝いをする方です。
また、外国人が地域で安心して生活し、活躍できるような地域に溶け込むサポートを担っていただく方です。
※日本語教師とは異なります

主催：長野県 協力：駒ヶ根市

- ◆ 検討委員会で作成したカリキュラム・教材を用いて実施
- ◆ 「知識」「技能」に重点を置いた内容



上田・松本・伊那・長野・駒ヶ根
139名受講、117名修了

[申込み・問合せ先]

長野県県民文化部文化政策課多文化共生・パスポート室

TEL 026-235-7173

E-mail tabunka-c@pref.nagano.lg.jp

長野県日本語交流員養成初期研修

3時間×5回（オンラインの場合は、内容に応じて1回あたりの時間を調整）

	テーマ	内容
1	日本語交流員の役割と多文化共生 （学習者の背景に対する理解） ～日本語交流員の役割を学ぶとともに多様性を認め合おう～	日本語交流員に求められる役割、外国人をめぐる国内外の動き、多文化共生とは、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標等
2	長野県、地域の独自性 ～どんな特徴があり、どんな日本語教室があり学習者がいるのかを知ろう～	県内に在住する外国人、多文化共生施策、地域の支援者の状況、地域日本語教育の実施体制と支援者の役割等
3	やさしい日本語 ～言語としての「やさしい日本語」って何？どう使うの？～	やさしい日本語とは、やさしい日本語を使ってのコミュニケーションの手法等
4	多文化コミュニケーション ～コミュニケーションから相手の文化を尊重しよう～	異文化理解とは、多文化コミュニケーションとは、傾聴等
5	日本語交流員として ～活動を想定してみよう～	研修の振り返り、外国人支援の様々な事例紹介、日本語交流員としての実践演習等

長野県日本語交流員養成スキルアップ研修

しんしゅう多文化共生新時代地域づくり推進事業

しあわせ信州

令和2年度 全4回 10/27 締切 募集中

長野県日本語交流員養成スキルアップ研修 受講者募集

長野県内には、現在、約37,500人の外国人の方が暮らしています。その中には、地域の一員として活躍すること、そのために日本語を学ぶことを望んでいる方々が大半です。日本語交流員初期研修を修了された皆さまを対象として、より実践的で、役立つ内容についての研修を行います。今後さらにご活躍をいただくため、皆さまの受講をお待ちしています。

この事業は、文化庁「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」を長野県が受託し実施するものです。

日時・会場

地域	実施日	時間	会場
長野	令和2年11月21日(土)	午後1:30 ~午後4:30 (3時間)	長野市生涯学習センター 3階 第1・2学習室 (長野市鶴賀問御所町1271-3)
	令和2年12月5日(土)		
	令和3年1月30日(土)		オンライン (Zoomミーティング)
	令和3年2月6日(土)		
伊那 ※中止	令和2年12月13日(日)	令和3年1月30日 (土)のみ 午後1:30~午後 3:30 (3時間)	伊那市生涯学習センター5階 研修室501、502、503 (伊那市荒井3500番地1)
	令和2年12月20日(日)		
	令和3年2月7日(日)		
	令和3年2月14日(日)		

対象者

長野県日本語交流員養成初期研修を修了された方で、日本語交流員としてより実践的な内容を学びたい方
※スキルアップ研修未受講に限る

申込期間

令和2年10月12日(月) 午前9:00から 令和2年10月27日(火) 午後3:00まで
申請方法は裏面にをご覧ください。

その他

原則として、全4回出席してください。3回以上出席された方には、修了証をお渡しいたします。
詳細については裏面及びホームページをご覧ください。
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kokusai/r2jigyuu.html>

主催：長野県 協力：長野市（長野会場）、伊那市（伊那会場）

【申込み・問合せ先】

長野県県民文化部文化政策課多文化共生・パスポート室

TEL 026-235-7173

E-mail tabunka-c@pref.nagano.lg.jp

- ◆ 検討委員会で作成したカリキュラム・教材を用いて実施
- ◆ 「態度」に重点を置いた内容
- ◆ 研修期間中、自ら課題を設定し、実践、発表する「グループ実践」に取り組む



上田・松本・長野

32名受講、29名修了

長野県日本語交流員養成スキルアップ研修

3時間×4回＋実践（オンラインの場合は、内容に応じて1回あたりの時間を調整）

	テーマ	内容
1	日本語交流員の役割と多文化共生 ～初期研修の振り返りを通して改めて考えよう～ 地域のリソースと外国人支援 ～地域のリソースを確認して外国人支援を考えよう～	初期研修受講後の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちの地域の目指す姿 ・ 地域の外国人支援の繋ぎ先 （市役所等行政の担当課、関連のNPO等）
2	コミュニケーション実習 ～学習支援について、コミュニケーションを通して考えよう～	コミュニケーション実習 （それぞれの“ライフ”の共有→作文） <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践に向けたオリエンテーション ・ 実践課題の設定
グループ実践 実際に地域に入ることを通して、日本語交流員としての学習支援や地域とのつながりの支援について考えを深める活動		【実践例】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の日本語教室を見学し、学習者への寄り添い方や課題を考察する ・ 地域の公民館で多文化共生について考える場を持ち、できることを検討する
3	実践の振り返り ～振り返りを通して実践について改めて考えよう～ 地域のリソースと外国人支援 ～地域のリソースを確認して外国人支援を考えよう～	実践の振り返り（活動報告） <ul style="list-style-type: none"> ・ 独学できる日本語学習教材(自習ドリル、e-Learning、遠隔授業等)の紹介
4	日本語交流員として ～長野県の多文化共生社会を思い描こう～	研修全体の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちの地域の目指す姿（再度） ・ 日本語交流員の活躍の場について

長野県モデル教室における活動

長野県が目指すモデル教室とは…

日本語教育人材が連携し、多文化共生の地域づくりの拠点となるような教室

長野県

公募をして派遣

- 地域日本語コーディネーター
- 日本語教師
- 日本語交流員

①上田地域

運営：上田市

R1 10月～2月 全16回

毎週木曜日 18：30～20：00

R2 9月～1月 全16回

毎週水曜日 18：30～20：00

②松本地域

運営：NPO法人中信多文化共生ネットワーク

R1 11月～1月 全16回

R2 10月～1月 全16回（オンライン）

毎週土曜日 19：00～21：00

毎週日曜日 10：00～12：00

③駒ヶ根地域

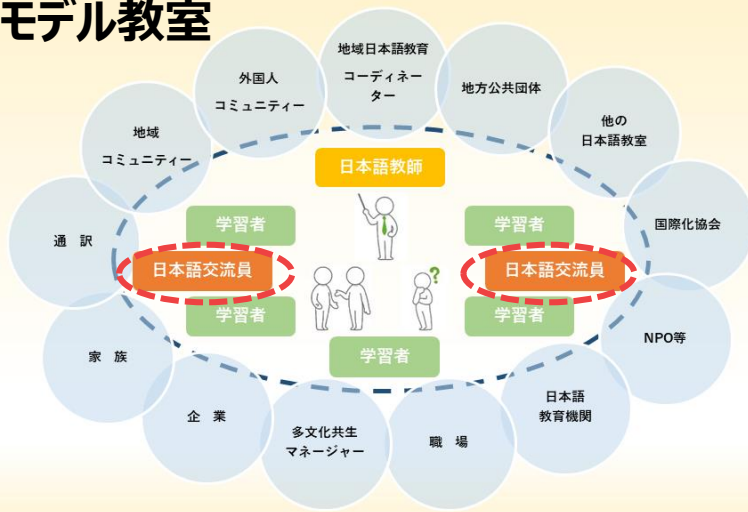
運営：地球人ネットワークinこまがね

R2 9月～2月 全18回（うち2回オンライン）

毎週土曜日 10：00～11：30

R3 継続実施予定

モデル教室





ご清聴ありがとうございました